

關東地方

茨城縣橋梁の架換計畫

茨城縣では明年度豫算中橋梁の架換は愛國橋始め七橋とし次の通其の箇所を決定したる由に橋梁(單位圓)

- ◇花沼橋(多賀郡、才九磯原線)二、八〇
- ◇大手橋(同郡、東川内日立線)四、五〇
- ◇砂橋(久慈郡、水戸會津線)三、五〇
- ◇谷熊橋(那珂郡、水戸烏山線)二、三〇〇
- ◇境橋(同郡、水戸烏山線)二、五〇〇
- ◇愛國橋(結城、筑波兩郡宗道吉沼線)一八、四〇〇
- ◇八枚橋(北相馬郡、龍ヶ崎布佐線)二、〇〇〇

栃木縣鬼怒高原觀光道路 開通式舉行

栃木縣にて關東平野を一望の下に收むる湯の街鹽原と觀光都をつなぐ日鹽道路は總費三十餘萬圓延長八里三ヶ年經續事業として鷓頂山を開鑿しうねり／＼つて眺望佳絶な觀光路で施工中の所此程竣工し十一月一日開通式を舉行した、路名を鬼怒高原觀光道路と命名した。

北陸地方

石川縣道路橋梁事業の遂行

石川縣本年度道路橋梁事業の施工に關し

ては容易に決定を見ざりしが漸く指定府縣道改良十六萬八千圓橋梁架替七萬五千圓一般道路改修二十六萬六千圓と決した。

福井縣下幹線道路改修事業の起工

福井縣の十二年度幹線道路改修工事は行惱んでおつたが漸く次の七線を起工することとなつた。福井、加賀吉澤線(春江村針原、兵庫村下兵庫間)勝山、金澤線(北谷村谷峠)福井八幡線(上宇坂品ヶ瀬、境寺間)松岡勝山線(上志比村北島、中島間)東郷朝日線(立待村杉本、上石田間)鮎川福井線(西藤島村海老助、深谷間)武生今庄線(王子保村四郎丸、湯尾村湯尾間)一部變更して施工)

東山地方

岐阜縣下今尾橋の明粧成る

岐阜縣に於て總工費二十四萬五千圓を以て榊斐川に架橋中の今尾橋は三年四ヶ月の日子を費して此程其の明粧成り秋の水面に

投影する線と弧々の交錯は實に見事なものである。

近畿地方

滋賀縣下湖周道路の竣工

滋賀縣下湖西木戸小松間の湖周道路は悪道中の悪道の名ありし縣道大津—今津線の一部木戸、小松間の道路附替、路幅擴張工事を昨年七月以來十八萬圓を投じて着工してゐたが此程全長四里にわたる工事を完了し路幅も五・五メートルとなり坦々たる新道は比良中腹を縦ひ麗湖と靈峰を左右に眺めるの景観をほしむるにすむわけで、とくに白砂青松の近江舞子にも舊道より二、三町近くになり全通は本月末で秋を迎へて琵琶湖畔のドライブは至極安易となつた。

大阪市中央公會堂に於ける

六大都市道路會議

大阪市中央公會堂で十月二十九、三十兩日に互り開催した六大都市道路會議は極めて有意義のもので道路國策再檢討と重要

視せられた其の付議事項の主なるものは道路管理者の軌道に對する監督權の擴張▽電柱、廣告物、公衆電話ボックス、巡查派出所、塵芥箱、ガソリン・スタンドの路上占用は交通上支障甚しきをもつて路上の占用不許可方針を確立したし▽道路工事で沿道土地との間に高低差を生じしば△その補償問題が起ることありその取扱方針如何△街路照明設備は近來道路附屬物と考へる傾向があるがその建設並に維持費を總べて市負擔となすことは財政上困難であるから速に經費負擔の方針を定め照明設備の普及をはかる必要あり等であつた。

中國地方

鳥根縣松江大橋の渡り初め式行はる

め式行はる

鳥根縣松江市の松江大橋は改築架橋工事竣工を告げ十月十日水郷松江大橋々畔で竣工式が舉行され「今日うれしい渡り初め」と小旗打ち振る小學兒童に依つて名橋の渡り初めが行はれた。擔當主任の語る所を開

くに路線名—路線は松江、廣島線といひ大橋川を横切るところすなはち松江市末次本町から白濁本町に跨つて架けられてをります、本橋は交通量の多いことは縣下第一で昭和八年六月全國一齊におこなはれた交通調査の結果によりますと、歩行者一五、八九六人、牛馬五、人力車一五〇、自轉車九、六五五、荷車四九六、牛馬車一〇〇、自動自轉車二七、乗用自動車九二〇、貨物自動車一二六であります。

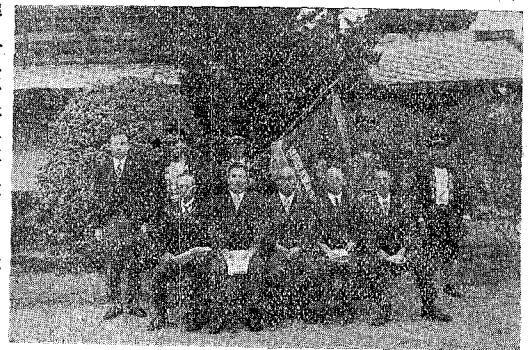
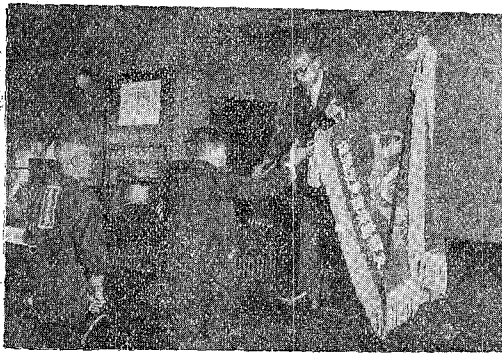
橋の大き—長百三十四メートル、全幅員十二メートル、橋の中央兩側に長二十メートル四〇、幅一メートル四〇の展望設備があり總面積一、六六五平方メートル一二、なほ車道の幅は六メートル五〇で歩道の有效幅は兩側各二メートル二五。設計荷重—大橋の上には何ほどの荷物が乗つても差支へないかとよく尋ねられることとあります。これには内務省で定められた規定がありまして市街地では第一種荷重(俗に一等荷重ともいふ)といつて東京などの橋とおなじ重さの荷を標準といたしてあります。専門的に説明す

ると難しくなりますから概念的に申しま
すと十二趾自動車二臺を二列にならべそ
の周圍には、橋全體にわたり重量六十趾
(十六貫)の人が一平方メートル當八人
くらゐ(一坪當二十五人くらゐ)の割で
ぎつしり詰つても絶対安全に出來てをり
ます。特別の場合にはこの八十パーセン
ト増しても差支へないことになつてをり
ます、また地震に對しても震度〇、二ま
では安全なやうに設計してあります。

橋臺構造—橋臺といふのは川岸などに陸
地に續いて造つて橋體を支へる構造物で
基礎(軀體を支へ普通は地表に表はれな
い)と軀體とから成立つてをります、大
橋では基礎に長十五メートル五〇末口二
十一センチの生松丸太七十本(白海本町
側)計百四十本を地中深く打込み下の岩
盤まで届かせその上に長十四メートル、
幅五メートル高七メートル八六の鐵筋
「コンクリート」で造つた軀體がのせて
あります。

廣島縣道路維持修繕成績 優秀土木出張所表彰

廣島縣に於ては昭和十年九月一日を期し
て路面の劃期的改善に傾注種々劃策努力の
結果今や路面は縣下全般に互りて全く舊態
を一變して著しく改善せられ縣民より嘖々
たる好評と感謝を聞きつゝあるの現狀に鑑
み昨年の初回到りに次いで今回之が第二回の企
として昭和十一年十月より本年九月迄一ケ
年間道路維持修繕成績の最も優秀なる土木
出張所を道路改良會廣島縣支部に於て左記



の通り賞狀、優秀旗及賞金を授與して表彰
することとなり十月三十日廣島市縣教育會
館に各土木出張所長と修路工夫代表等を召
集して知事及道路關係職員並に廣島鐵道局
工務部長代理其他來賓多數臨席の下に之が
表彰式を舉行せり。(寫眞は其の實況)

記

一等 上下土木出張所

優秀旗及賞金五拾圓

二等 加計土木出張所

賞金參拾圓

三等 吳土木出張所

同 福山土木出張所

賞金各貳拾圓宛

廣島縣下鐵路大峠の改修

施工

廣島縣下の商工都福山と備後奥地を結ぶ福山——庄原線縣道中の痛といはれた福山市北吉津町から深安郡千田村鐵路に至る四キロの鐵路大峠の改修工事はいよ／＼工費五萬圓で二十三日から着工されたが鐵路大峠の切取りは行はず舊兩備鐵道の廢線地を利用して奈良津トンネルを切り開き福山市三吉町相生橋から舊兩備驛に出で奈良津トンネルを経て鐵路大峠を東廻りし千田村に至る幅員八、五〇米の新産業道路を建設するもので、竣工の曉は福山、府中間唯一の交通難所もとり除かれ備南地方の交通上に多大の便宜を齎すものと期待されてゐる。

山口縣下關門トンネル施

工すゝむ

地方通信

晝夜兼行で工事をすゝめてゐる早納海峡における國道トンネル堅坑掘鑿陣は下關側境ノ浦においてボーリングの結果から湧水を豫想した第一難關も大した湧水も見ず難なく第一關門を突破五十餘名の全トンネル戦士は非常時氣分にハリ切り工程順調に進捗、深度十六メートルに達した大型二個、中型三個、小型二個の全部日本製品による鑿岩機を岩質に應じて使用、殘る難關二ヶ所をも見事に征服、十一月一杯に六十九メートルの豫定地點まで掘抜き豆トンネル試掘準備に取りかゝる意氣込みである。なほ門司側堅坑は現在十三メートルまで掘下げてをり、同じく十一月中に豫定地點六十一メートル迄到達するはず。

四國地方

高知縣下熊井坂トンネル

新路成る

縣道高知——中村線幡多郡佐賀村中角部落熊井坂トンネルは最近激増せるトラックの積載量に對しては餘りトンネルが低くなり

なほトンネル附近の路線のカーブは危險の箇所があるので工費四萬五千圓を計上し、同トンネル附近に延長二千六百六十米、幅員六米五〇の新線路面を改修、昨年二月七日着工、十月三十一日竣工一日から開通したこれで今後の陸運交通量の躍進に備へることが出來た。

高知縣下の道路愛護實施

高知縣吾川郡富岡村道路愛護會は創立以來輝かしい業績を残して今日におよんで居るが本年度もまたその行事を有意義ならしむべく十月下旬氏原村長以下安本、橋村兩助役はその全線に互つて採配し消防組、青年團在郷軍人各種婦人團、處女團、小學校職員兒童等の外一般民を合して延長一キロの道路の溝上げ、除草、地均し等見るも嬉しい様な活動を見せたがその人員は七百名におよび延時間は實に八百餘時間を越へ最も意義ある行事を實施した。又土佐郡一宮村上組部落は由來國幣中社土佐神社の地元であり同社宮司白岩秀夫、關川村長、松村第一小學校長等の指導の下に過般該部落常會を設立し毎月十一日夜例會を開き敬神尊

皇、國體觀念の鼓吹、社會教育、生活改善、産業發達等を目標とし模範的部落として漸次躍進を續けて來たが、同會婦人連は近時各方面の土佐參拜者が日々増して多く神域における里道としては勞しからぬを憂へ去る十月三十一日幹事山本誓、木林岩尾、大井小雪女史以下四十餘名の婦人が千數町に及び附近の道路の雜草、礫を取り除き通行者に非常な安全感を與へ非常時勞動奉仕の第一線に花々敷活動して居る。

朝鮮地方

咸興與南間の道路鋪裝成

らんとす

北鮮の二大都市咸興、與南を結ぶ經濟道路の鋪裝工事はすでに四、五年前から度々計畫され經費關係から實現を見なかつたが北鮮の躍進に伴つてこの路線の重要性は逐日加重されつゝあるに鑑み咸南道ではいよゝ年度内に總工費六萬一千圓を投じて鋪裝することに決定した。工事費の半ば三萬五千圓は道費負擔、殘額は咸興タクシ二萬

圓朝室關係會社三千六十圓、朝鮮運送一千五百圓その他一千四百四十圓の受益者寄附によることとなり、明春までに完全なアスファルト道路となる見込である。かくて咸

興、與南間十二キロは北鮮隨一の快適なドライブウエイとなりハイヤー十八人分で兩都市を結び接續された兩都の經濟的、文化的福利は莫大と期待されてゐる。

冬季漫吟

寒晴るゝや霜枯を踏む御境内 初 聲

霜枯の門いつ鎖して留守の庵

朝日さすや霜枯築地じつとりと

香炷す三十三間堂の時雨かな

突這ひの掛繩寂かや時雨庭

暖簾深くおでんの客をさし覗き

落葉の酒戀はれつゝおでんの香

おでん匂ふや行きぬけ路地の雨更けて

鶏あさる音カサコソと花茶圃

茶の木垣の虻うるさゝよ花盛り

耕人稀に野菊枯れゝ橋の霜 巴 藤

寺門何處棕櫚のみ殘る烟に霜

寺門鎖ちて久しき屋根や寒雀

寒雀つばさ伸ばすや庵の留守

炬燵いまだ月蔽ひぬ時雨雲

村葬の日つづきたる枯野道

蒲團今朝も干して戦地の夫想ふ

ふぐ料理一燈寒し夢枕

ふぐ鍋や吾れに酒あり飯食へり

星月夜喪家の狗の近づくよ

どんよりと今日も暮れ行く冬座敷

貨車一輛枯野の驛に暮れにけり